

## (教育理念)

### 獅子のごとく勇気をもって進め 撫子のごとく真心をもって歩め

しっかりと学問を修め、専門性豊かな人、幅広い視野をもった人になろう。

ものごとに挑戦する強い意志をもち、あきらめない人になろう。

真剣に考え、話し合える人になろう。

神奈川県立上溝高等学校  
第 32 代校長 猪俣 聡

本校は、明治 44 年に組合立鳩川農業学校として創立し、その後 7 回の校名変更を経て現在の神奈川県立上溝高等学校となりました。

平成 23 年 11 月には、創立 100 周年記念式典を挙行し、平成 21 年から始まった新校舎建設も平成 27 年 3 月 23 日をもって無事終了し、落ち着いたある校舎が完成いたしました。これもひとえに地域の皆様をはじめ、応援いただきました同窓生並びに保護者の皆様など多くの方々の献身的なご協力とご尽力によるものと感謝申し上げます。

さて、上溝高校内には「なでしこのごとく」という、津田文吾元神奈川県知事の書による石碑があります。これは、学業を修め、知徳体を培い、いかなるときも綺麗に咲く撫子の花のように強くあれという、昔、女子校であったときの校訓を当時の知事が書にして贈られ、それを記念碑として建立したと聞いています。その後、昭和 58 年 4 月に再び男女共学となり、現在男女ほぼ同数の生徒が在籍しています。生徒が安心して学ぶことができ、自らの進路をじっくりと考える環境が整いました。

今、社会からはコミュニケーション能力が求められています。それは、自分の考えを持ち、その考えを自分の言葉でしっかりと相手に伝える能力です。それを身に付けるためには、真摯に学問を修め、専門性豊かな人、幅広い視野をもつこと、ものごとに挑戦する強い意志をもつこと、さらには、物事を真剣に考え、話し合う力が必要です。男女共学となった本校の新たな教育理念にはそうした思いが込められています。

本校は現在、神奈川県教育委員会から、県立学校改革実施計画（I 期）教育課程研究開発校に指定され、新たな一步を歩んでおります。これまでも地域の皆様のご理解、ご協力をいただきながら成長し続けてきた上溝高校です。新校舎とともに、益々地域に根ざした学校を目指し、生徒と職員、PTA、撫子会（PTA OB・OG 会）、同窓会鳩友会等が一丸となって、更に発展して行きたいと思っております。